

検出菌に関する報告形式変更等のお知らせ

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のお引き立てを賜り厚く御礼申し上げます。
このたび、緑膿菌とアシネトバクター及びコリネバクテリウム
に関する報告形式について、一部を変更させて頂きたく、
ご案内申し上げます。
何卒ご了承を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

敬具

記

■ 変更日

2023年 1月 4日 (水) 報告分より

■ 変更内容

- 1 緑膿菌およびアシネトバクターの耐性菌の報告に関する変更
- 2 コリネバクテリウムの感受性検査に関する変更

詳細は裏面をご参照ください。

- 1 薬剤耐性菌の検出が増えている現状を踏まえて、緑膿菌およびアシネトバクターについて、下記の報告条件を満たす場合には、次の菌名でそれぞれ報告させていただきます。

***Pseudomonas aeruginosa* (MDRP)**

注) MDRP : Multiple-drug-resistant *Pseudomonas aeruginosa*

***Acinetobacter baumannii* (MDRA)**

注) MDRA : Multiple drug-resistant *Acinetobacter baumannii*

<報告条件>

- ① 同定検査で、*Pseudomonas aeruginosa* または *Acinetobacter baumannii* が検出されること。
- ② 同定検査とともに薬剤感受性検査の依頼があること。
- ③ 3系統の薬剤について下記の条件を全て満たすこと。
 - カルバペネム系薬剤 : IPM、MEPM、DRPM のいずれかが耐性 (R)
 - アミノグリコシド系薬剤 : AMK のMIC値が $\geq 32\mu\text{g}/\text{m l}$ (I or R)
 - フルオキノロン系薬剤 : CPMX、LVFXのいずれかが耐性 (R)

- 2 無菌材料以外（呼吸器、尿、生殖器、皮膚等）でコリネバクテリウムが検出された時の薬剤感受性検査について、下記の通りに変更いたします。

変更前：無菌材料以外の検出では感受性検査を除外する。



変更後：無菌材料以外の検出でも感受性検査を実施する。

<理由>

コリネバクテリウムに関して、これまで無菌材料以外で検出された場合、常在菌として感受性検査を除外していましたが、近年、様々な感染症への関与が報告され、さらに一部では耐性化が進み菌交代症としても報告されています。このような現状を踏まえ、今後は無菌材料以外でも、検出された場合は感受性検査を実施いたします。

*ただし、検出状況やグラム染色の所見などから、原因菌ではなく常在菌の混入と判断する場合は除外させていただきます。ご了承ください。